

# 生衛いばらき WEB版 第32号

令和4年2月号

発行所 (公財)茨城県生活衛生営業指導センター

電話 029-225-6603

FAX 029-225-6638

## 1 令和3年度第2回標準営業約款登録審査会を開催しました。

令和3年度第2回標準営業約款登録審査会を1月20日(木)に三の丸庁舎B会議室にて開催いたしました。

今回の申請件数は、理容業が再登録11件、美容業が再登録7件、クリーニング業再登録14件ですべての案件が登録となりました。この結果、各業種の登録件数は以下のとおりです。

理容業 674件、美容業 333件、クリーニング業 31件、めん類飲食店営業 2件

### 安全・安心への取組み

標準営業約款制度「Sマーク」は、消費者の皆さまにご利用いただく際の安全・安心の目印です。



安全・安心を  
約束する  
3つのS



#### Safety…安全であること

Sマーク登録店は、万一事故が発生した場合、事故賠償基準に基づいて賠償が行えるよう、損害賠償責任保険に加入しています。

#### Sanitation…清潔であること

Sマーク登録店は、衛生的なサービスを提供出来るよう、営業施設又は、設備についての基準を定めています。

#### Standard…安心であること

Sマーク登録店は、標準的なサービスを提供出来るよう、提供する役務の内容、基準を細かに定めています。

安全・安心を約束するSマークに登録しよう

## 2 お知らせ

### (1) 「令和3年版 知って役立つ・使って得する生活衛生営業の税制」



生活衛生営業のための **無料**  
**せいえいNAVI**  
を是非ご活用ください

4つの機能

- 最新情報** 生活衛生営業の最新情報を知ることができます
- 検索機能** 生活衛生営業種の業種や業種の条件で探すことができます
- 先着事例** 経営改善の先進的な事例を検索し見ることができます
- 経営診断** 自店の経営診断ができます

せいえいNAVIから税制の最新情報を知ることができます

スマートフォンやタブレットにインストールしましょう

iPhone版 Android版

令和3年度版  
知って役立つ・使って得する  
**生活衛生営業の税制**

公益財団法人 全国生活衛生営業指導センター

下記にアクセスしてご覧ください

<https://www.seiei.or.jp/pdf2/R03zeisei.pdf>

### (2) 事業復活支援金について

2022年3月までの見通しを立てられるよう、コロナ禍で大きな影響を受ける事業者  
に、地域・業種を問わず、固定費負担の支援として5か月分の売上高減少額を基準に  
算定した額を一括給付します。

#### 給付対象

新型コロナの影響で、2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高  
が、2018年11月～2021年3月までの間の任意の同じ月の売上高と比較し  
て50%以上または30%～50%減少した事業者（中堅・中小・小規模事業者、  
フリーランスを含む個人事業主）

【受付期間：2022年1月31日（月）～5月31日（火）】

[事業復活支援金事務局ホームページ](https://jigyoun-fukkatsu.go.jp/) <https://jigyoun-fukkatsu.go.jp/>

申請の支援を希望の 組合員の方 は下記の申込書によりお申し込みください。

生活衛生同業組合員の皆さまへ

支援金の内容を  
知りたい

パソコンの申請を  
手伝ってほしい

「事前確認」を  
お願いしたい

無料

# 「事業復活支援金」等の 申請をお手伝いします

令和4年1月より、新型コロナの影響で売上が減少している事業者を対象に令和4年3月までの見通しを立てられるように「事業復活支援金」が支給されます。

## 【事業復活支援金の概要】

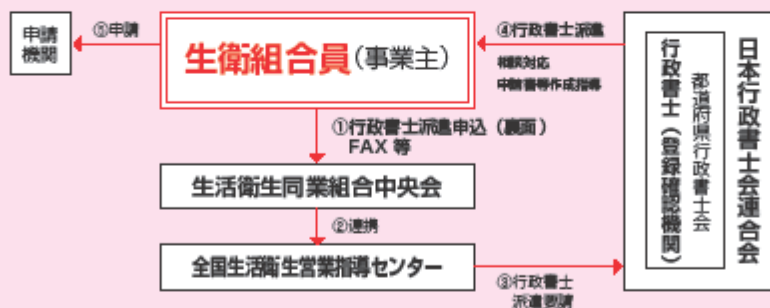
支援金の対象

新型コロナの影響により、**2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高が50%以上又は30%～50%減少**した事業者

**全ての業種・全ての地域**が対象

法人は上限最大250万円、個人事業主は上限最大50万円を給付

専門家(行政書士)が支援金の申請をサポートします。



サポート申込 FAX 送付期限：令和4年3月末日

※お早めに FAX にてお申込みください

専門家支援を希望される方は、裏面の「専門家(行政書士)支援申込書」に必要事項を記入の上、全国生活衛生同業組合中央会へFAXしてください。

**FAX 03-5777-0342**

申込後、組合中央会・全国指導センターから、確認のご連絡をいたします。

## 事業復活支援金等 専門家（行政書士）支援申込書

次のとおり支援を希望します。

FAX番号：03-5777-0342

貴方の名前 (代表者・経営者)	(フリガナ )	電話番号	
		携帯番号	
店舗・施設名	(フリガナ )	メールアドレス	
住所	<input type="checkbox"/> 自宅	(フリガナ )	
	<input type="checkbox"/> 店舗等		
事業形態	法人・個人	業歴 年	従業員数 人
業種 (該当項目に☑)	<input type="checkbox"/> 理容店 <input type="checkbox"/> 美容店 <input type="checkbox"/> 興行場(映画館等) <input type="checkbox"/> クリーニング店 <input type="checkbox"/> 公衆浴場 <input type="checkbox"/> 旅館ホテル <input type="checkbox"/> 麺類店(そば・うどん) <input type="checkbox"/> 氷雪販売店 <input type="checkbox"/> 食肉販売店 <input type="checkbox"/> 一般飲食店(食堂・レストラン等) <input type="checkbox"/> すし店 <input type="checkbox"/> 食鳥肉販売店 <input type="checkbox"/> 喫茶店 <input type="checkbox"/> 中華料理店 <input type="checkbox"/> 社交飲食店(スナック・バー等) <input type="checkbox"/> 料理店(料亭・割烹等)		
加入生衛組合 (該当項目に☑)	<input type="checkbox"/> 理容 <input type="checkbox"/> 美容 <input type="checkbox"/> 興行 <input type="checkbox"/> クリーニング <input type="checkbox"/> 公衆浴場 <input type="checkbox"/> 旅館ホテル <input type="checkbox"/> 麺類 <input type="checkbox"/> 氷雪販売 <input type="checkbox"/> 食肉 <input type="checkbox"/> 飲食 <input type="checkbox"/> すし店 <input type="checkbox"/> 食鳥肉販売 <input type="checkbox"/> 喫茶飲食 <input type="checkbox"/> 中華料理 <input type="checkbox"/> 社交飲食 <input type="checkbox"/> 料理		

現在の状況・支援希望内容 (該当項目をチェック(☑)してください。)

現在の状況	<input type="radio"/> 過去に本事業の行政書士の支援を利用したことがありますか？ <input type="checkbox"/> 利用したことがある ⇒ 担当した行政書士の氏名： <input type="checkbox"/> 利用したことはない <input type="radio"/> 月次支援金の申請IDはお持ちですか？ <input type="checkbox"/> 持っている <input type="checkbox"/> 持っていない <input type="checkbox"/> 分からない
	<p>(支援希望の内容について該当するもの全てに☑を入れてください。)</p> <input type="checkbox"/> 事業復活支援金の申請サポートをお願いしたい。 ⇒ <input type="checkbox"/> 申請できるか確認 <input type="checkbox"/> 申請サポート全般 <input type="checkbox"/> 事前確認のみ <input type="checkbox"/> 都道府県・市町村の支援金・協力金等の申請サポートをお願いしたい。 <input type="checkbox"/> 補助金の申請サポートをお願いしたい。(補助金名： ) <input type="checkbox"/> どのような支援策があるのか助言してもらいたい。 (その他の希望を具体的に記入願います。)

### ＜事務局記入欄＞

(下欄は、実施決定の際に記入してください。)

第一希望日	月 日 午前・午後	支援実施日時	月 日 時	実施場所
第二希望日	月 日 午前・午後	担当行政書士		